

令和 8 年度 第 1 回旭川市社会教育委員会議 議事録

日時	令和 8 年 5 月 1 9 日 (火) 午後 2 時 0 0 分～ 3 時 3 0 分
場所	旭川市総合庁舎 7 階 大会議室 A
出席者 (委員)	伊藤委員、岩永委員、遠藤委員、齊藤委員、佐藤 (郁) 委員 佐藤 (一) 委員、菅委員、田中委員、谷川委員、中村委員 濱中委員、藤本委員 ( 1 2 名)
出席者 (職員)	和田教育長、田村社会教育部長、松野郷社会教育部次長、伊藤社会教育部主幹、小島社会教育課主幹、前川社会教育課主幹、今野文化振興課長、小浜文化ホール担当課長、松里公民館事業課長、菅原中央図書館長、内田科学館館長、沼田博物館館長、浪内社会教育課職員 ( 1 3 名)
公開・非公開の別	公開
傍聴者	1 名
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 教育長挨拶</li> <li>3 委嘱状交付</li> <li>3 職員紹介</li> <li>4 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 議長及び副議長の選出</li> <li>(2) 諮問「旭川市における社会教育の在り方と方策について」</li> <li>(3) 令和 8 年度教育行政方針について</li> <li>(4) 令和 8 年度社会教育部の事業について</li> <li>(5) 次期社会教育基本計画の策定スケジュール及び専門部会のメンバー選出について</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>
会議資料	<p>&lt; 配付資料 &gt;</p> <p>資料 1 令和 8 年度 教育行政方針</p> <p>資料 2 社会教育部事業説明資料</p> <p>資料 3 次期社会教育基本計画の策定スケジュールについて</p>

## 会議要旨

### 1 開会

### 2 教育長挨拶

### 3 職員紹介

### 4 議事

#### (1) 議長及び副議長の選出

議長・副議長の選任について、事務局に一任していただくことで、各委員の承認を得た。事務局案として、議長に濱中氏、副議長に斉藤氏を提案し了承された。

#### (2) 諮問「旭川市における社会教育の在り方と方策について」

教育長より次の事項について教育委員会議議長に意見も求めた。

##### (1) 旭川市の社会教育の現状と課題

##### (2) 現状と課題に対しての基本的方向性

##### (3) 基本的方向性を踏まえた具体的な推進方策

##### (4) 具体的な推進方策の点検・評価の在り方

#### (3) 令和8年度教育行政方針について

#### (4) 令和8年度社会教育部の事業について

議長	議題3「令和8年度教育行政方針について」と議題4「令和8年度社会教育部の事業について」は関連があるので合わせて事務局から説明を
事務局	(資料1及び資料2に基づき説明)
議長	意見や質問はあるか。
委員	<b>(施設の環境整備(エアコン・LED化)について)</b> 猛暑対策としてのエアコン設置は快適な利用に不可欠。ただし、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館(旧旭川偕行社)のような歴史的建造物・文化財は設置の制約が多いと聞く。こうした施設への手立てをどう考えているか。
事務局	文化財の同美術館は、工法や費用の面で制約があるが一方で、気候変動への対応は必要と考えており引き続き対応を検討する。他施設については利用頻度の高い貸室等から優先的に整備を進めている。ポータブルエアコンの融通なども含め快適な環境づくりに努める。
委員	<b>(地域学校協働活動の推進について)</b> 地域住民が関わりやすい環境体制づくり(資料3ページ)の具体的な中身を知りたい。学校への関わり方にハードルを感じる住民もいる中、モデル地域外への展開も含めどう動いているか。
事務局	ボランティア(コーディネーター)の負担を減らすため地域のコーデ

	<p>ィネーターの活動に負担を感じさせないように「無理のない範囲での活動」を周知している。また、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）との連携を強め、学校側からも歩み寄れる環境を作りながら、モデル地域の成果を広く紹介し、モデル地域外の関心も高めていきたい。</p>
委員	<p><b>（専門人材（学芸員・司書）の確保と育成について）</b> 全国的に学芸員や司書の不足・身分の不安定さが課題となる中、専門性や知見の継続的な継承（図書館のレファレンス機能など）をどう担保しているか。</p>
事務局	<p>（文化振興課）今春、専門職として美術系の学芸員2名を採用し、世代交代を図った。今後、専門研修の実施や他館との情報交換を進めながら、人材育成を図っていきたい。</p> <p>（図書館）会計年度任用職員は単年度の任用であるが任期を継続することが可能。図書館では、司書資格を持つ会計年度任用職員が多数在籍しており、定期的な人事異動や館内研修を通じて、レファレンス機能をはじめ組織的に能力向上を図っている。</p>
委員	<p><b>（シニア大学の学習成果の循環（委員からの活動報告））</b> シニア大学（60代～80代在籍）では、世代を超えた互いへの敬意や活力が生まれている。2年生からは自主的な学習会（「楽しい習う会」）を立ち上げ、各自の多様な人生経験（NPO起業、企業トップ、牧場経営など）をもとに互いに講義し合い、主体的な学びを深めている。</p>
議長	<p>これで、議事3及び4を終わる。</p>

(5) 次期社会教育基本計画の策定スケジュール及び専門部会のメンバー選出について

議長	<p>事務局から説明を。</p>
事務局	<p>（資料5に基づき説明） 説明後、専門部会のメンバー選出について、事務局に一任していただくことで、各委員の承認を得た。事務局案として、議長、副議長、岩永委員、谷川委員の4名を提案し了承された。</p>
議長	<p>次期社会教育基本計画の策定スケジュールについて意見や質問はあるか。（なし）</p>
議長	<p>その他意見・質問はあるか。 なければ本日の議事は終了する。</p>